

学力向上に向けた授業改善のために



このリーフレットは、学力向上に向けた4つの重点取組事項及び日々の授業づくりにおけるポイントを示し、市町教育委員会や学校と一体となって、学力向上に向けた授業改善の一層の推進を図るためのものです。

平成24年7月

山口県教育委員会

学校の組織的な取組

学校の力を伸ばす

学校目標・チャレンジ目標への取組の徹底・継続

- 目標には、子どもたちに身に付けさせたい力など、めざす子どもの具体的な姿を反映させ、全教職員で共通理解を図り、協働実践していきましょう。
- めざす具体的な姿を子どもたちに説明するとともに、学習への取組状況の評価を返すことで、学力向上への意識化を図りましょう。

学力向上プランにもとづいた全校体制での取組の推進

- 学校の抱える課題を共有して、全校体制で校内研修の充実を図りましょう。
- 学力向上プランにもとづく取組を授業研究等を通して検証し、取組の改善を図るなど、全校体制でPDCAサイクルに沿った取組を進めましょう。
- 全国学力・学習状況調査等の結果から、全教職員で取組の成果や課題を分析し、子どもたちに身に付けさせたい力について共通理解を図りましょう。

地域に信頼される特色ある学校づくり

- 学校の学力向上に向けた取組の方法や育てたい力などを、保護者や地域の方に、ていねいに分かりやすく説明していきましょう。
- 保護者や地域の方による学校評価や授業評価等の結果から、成果や課題を明確にし、全教職員や家庭・地域と共有し、改善に向けて組織的に取り組みましょう。



学習環境の整備

学習環境を整える

全校体制による学習規律の確立・徹底

- 授業での約束は、全教職員で共通理解を図り、どの学級においても同一歩調で、徹底しましょう。
- 「話すこと」や「聞くこと」など、言語活動を充実する上で、大切なことをしっかりと指導しましょう。

学びを促す学習環境づくり

- 学習に落ち着いて取り組めるよう、掲示物を工夫するなど、教室環境を整えましょう。
- 子どもも教員も進んであいさつをし、授業ではていねいな言葉遣いを心がけましょう。

学校間連携・異校種間連携の推進

- 小学校区単位での授業参観・情報交換や、「つながる子どもの育ち」等を参考にし、幼保・小それぞれの教育のねらいや方法について理解し合ひましょう。
- 中学校区単位での授業参観や出前授業、情報交換等を通して、常に情報を共有し、小・中学校が連携した指導の充実にも努めましょう。



学力向上の取組全体構想図 ～4つの重点取組事項～

めざす子ども像

- 自らの夢の実現に向け、進んで学習に取り組む子ども
- 基礎的・基本的な知識や技能を身に付けた子ども
- 知識や技能を活用して、思考し、判断し、表現する子ども

授業改善



各学校の重点取組事項

学校の力を伸ばす

学校の組織的な取組

授業の力を高める

指導方法の工夫改善

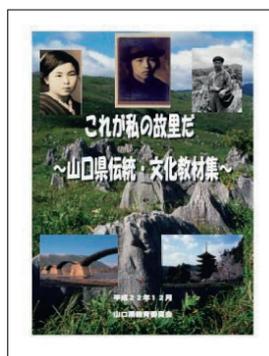
家庭・地域社会との連携・協働

学習環境を整える

学習環境の整備

学習習慣を身に付ける

学習習慣の確立



山口県教育委員会

やまぐち学習支援プログラム

知識・技能を活用して課題を解決する力を高める授業作りを支援します！

掲載している参考資料の詳細は、やまぐち総合教育支援サイト(<http://shien.yasn21.jp/>)をご覧ください。

指導方法の工夫改善

授業の力を高める

PDCAサイクルによる授業改善の推進

- 授業のねらいや取組の意図、期待する姿などを子どもたちに分かりやすく伝え、1時間の学習内容の定着度を評価し、子どもたちに自信や目標をもたせましょう。
- 日常的に授業評価を行って指導を振り返るとともに、指導の工夫改善の視点や、効果的な指導方法等を共有し、授業改善を進めましょう。

授業研究を核にした校内研修の充実

- 授業を通して、授業のねらいや身に付けさせたい力が明確であったか、そのための課題の設定や指導の手だては適切であったか等について検討しましょう。
- 全国学力・学習状況調査の結果分析から明確になった課題等に応じて、思考力・判断力・表現力等を育てる指導の手だてを工夫しましょう。
- 各教科の授業におけるICT機器の効果的な活用などについて研修を行い、指導方法の工夫改善に努めましょう。



個に応じたきめ細かな指導の工夫

- 子どもたちが、自分の状況に応じた学びの場を選択できるように教材や指導形態、指導方法を工夫しましょう。
- 「やまぐち学習支援プログラム」等を活用して、子どもたちの学力状況を客観的に把握し、一人ひとりの課題に応じた指導に生かしましょう。

学習習慣の確立

学習習慣を身に付ける

家庭学習の内容と方法の指導の充実

- 家庭学習の手引き等により具体的な取組方法を示すとともに、自主学習ノートなど、自ら課題を見つけて計画的に取り組めるような工夫を取り入れましょう。
- 授業内容に関連した課題や「やまぐち学習支援プログラム」の活用など、計画的に課題を出すとともに、必ず子どもに評価を返しましょう。

家庭と連携したよりよい家庭学習習慣の確立

- 家庭学習の時間や取組方法など、家庭の協力が必要なことをきちんと伝えましょう。
- 「やまぐち学習支援プログラム」の基本問題や親子問題の活用、望ましい家庭学習の様子などについて、学級だよりなどを活用して家庭と情報共有しましょう。



読書習慣の形成・定着

- 家庭で本に親しむ環境を整えることの大切さを情報発信するとともに、地域の図書館などとも連携し、読書への意欲付けを図りましょう。

マネジメントサイクルによる授業改善

課題の改善に向けた授業計画を作成し、授業実践を行い、達成状況を確認し、課題の解決策を検討していくマネジメントサイクルを推進しています。教員の組織的・計画的な取組を通して授業改善を図りましょう。

日々の授業では、児童生徒一人ひとりの学力の定着・向上に向けて、「日々の授業づくりにおける3つのポイント」を用いた授業づくりを行いましょう。

Plan

ねらいや評価規準を明確にした指導案・指導計画の作成

評価方法の確認 到達目標の共有



Do

分かる・できる・楽しい授業の実践

日々の授業づくりにおける3つのポイント

☆子どもたちの学習意欲を喚起するための手だてが工夫されているか

☆子どもたちが自ら考え、判断し、表現する場面が設定されているか

☆子どもたちが学習したことを振り返る場面が設定されているか



Check

多面的な授業評価

評価結果の分析 問題点の把握 指導方法等の見直し

①児童生徒による授業評価

②教員等による授業評価・校内研修

達成状況の共有

③授業公開



学習内容の定着度の評価

小テスト、単元テスト、学期末テスト
ノート、ワークシート、作品

やまぐち学習支援プログラム

(領域単元別・学期末評価問題など)



Action

多面的な授業評価から明らかになった課題の解決策の検討

日々の授業づくりにおける3つのポイント

子どもたちの「確かな学力」を育むためには、日々の授業改善が大切です。そこで、本県の授業改善の視点として、「3つのポイント」を掲げました。この3つのポイントを基に、教材研究、実践、振り返り等を行い、授業の力を高め、よりよい授業をつくっていきましょう。

★ 子どもたちの学習意欲を喚起するための手だてが工夫されているか。

「自らの夢の実現に向け、進んで学習に取り組む子ども」を育てるために、本時の学習のねらいを明確にし、ねらいの達成に向けた子どもたちの学習意欲を喚起するための手だてを考えましょう。

- 子どもたちの知的好奇心を高める資料の提示
- 学習のねらいに子どもたち自らが迫っていく学習課題の設定
- 子どもたちが見通しをもって取り組むことができる学習計画の提示 など

★ 子どもたちが自ら考え、判断し、表現する場面が設定されているか。

「知識や技能を活用して、思考し、判断し、表現する子ども」を育てるために、自分の考えを伝えたいくなるような手だてや、互いの意見を聴き合う必然性を生むような手だてを考えましょう。

- 既存の知識や技能を活用しながら課題解決に向かう学習活動の展開
- 子どもたちの多様な考えを引き出す発問の工夫
- 一人で考える場面、考えたことを互いに伝え合う場面の設定 など

★ 子どもたちが学習したことを振り返る場面が設定されているか。

「基礎的・基本的な知識や技能を身に付けた子ども」を育てるために、子どもたちが本時の学習活動を振り返るための手だてを講じるとともに、子どもたちのよさを見つけて評価をする手だてを考えましょう。

- 学習したことを振り返ることができる板書やノートづくり
- 教員の適切な評価によって、学習活動を価値付ける場面の設定
- 次時の学習につながる授業評価の工夫 など